

7月10日、本校2学年4名が「令和3年度東京プランニング・ラボ」に参加しました。都立商業高校に在籍する生徒にビジネスプランの作成を体験かつ実践的に学習させる目的で、6校が参加しておこなわれました。内容は、グループワークを中心に『新ブランドの提案に向けた基礎的な知識と技術を学び、さらにコンセプト、商品企画、展開、宣伝について研究、リサーチし、高校生ならではの視点で新しいブランドを商品化する』ことで、全5回、オンワードホールディングスの社員の方が講師となり実施されます。

第1回目の講義は『オンワードとアパレル業界について』業界研究をおこないました。最初、講義の前をお願いということで、「リラックスしてください」、「反応しましょう」、「質問しましょう」と言われ、生徒たちは徐々に緊張が解れてきたようでした。特に講義などには盛り上げる役の『反応係』という係が存在することなど知ることができました。その後、オンワードのブランドやファッション産業の概要を聴き、グループワーク1として、『知っているファッションブランドを書けるだけ挙げてください、ただし、ネット検索は禁止です』ということで、グループでアイデアを出し合いながら協力して書けるだけ書き、千早チームは36社を挙げることができました。次のグループワーク2では、『先ほど挙げたブランドの中から一つ選び、そのブランドの特徴を模造紙にまとめ発表して説明してください、1班3分程度、ネット検索は可能です』ということで、千早チームはGAPの歴史・ニーズ・特徴・Sustainabilityについて発表をしました。次回までの課題として『新しいブランドのアイデアを出し合ってみよう』ということで、生徒たちは夏季休業期間中に作成するように計画を立てていました。



